

平成10年 第4回定例会

平成十年第四回定例会
が、十二月二日から十八
日までの十七日間の会期
で行われました。
今回の定例会では十四
人の議員が一般質問を行
い、「平成十年度福生市一
般会計補正予算(第三号)」
を初めとする議案及び
「一刻も早く三十人学級
の実現を求める意見書の
提出を求める陳情書」等
の審議が行われました。



▲自慢の手づくりの羽子板を見せ合う子供たち
(1月8日 田園会館の羽子板づくりで)

小学校給食の食器を変更 より安全な材質に

一般会計補正予算を可決

本会議の経過

第一日目(二日)は、六人の議員の一般質問が行われました。
第二日目(三日)は、前日に引き続き四人の議員の一般

質問が行われました。
第三日目(四日)は、四人の議員の一般質問が行われた後、議案の審議が行われ、「西多摩農業共済事務組合の解散について」外二件は可決されました。
また、その外の議案と陳情

書等は各委員会に審査を付託されました。
第四日目(十八日)は、陳情書の取り下げ一件を承認した後、各委員会に審査を付託された議案、陳情の審査報告が行われ、原案のとおり可決等されました。

さらに当日提出された意見書二件が可決され、今定例会を終了しました。

意見書を可決

関係各機関に提出

今定例会第四日目に次の二件の意見書が可決され、関係各機関に提出されました。

三十人学級の早期実現を求める意見書(全文)

昨今、子供たちによる事件や、学級の崩壊、いじめ、不登校など、子供と教育をめぐる深刻な事態が続いており、多くの国民がこの問題に強い関心を寄せている。その論議の中で子供たち一人一人に向き合い成長を励ましていくことの重要性が浮かび上がり、「もっと一クラスの人数を減らしてほしい」という声が広がっており、教育現場からも少人数学級実現への要望もたらされている。

文部省は「小学校は平均二十七・七人」と答えているが、これは都市部も過疎地域もすべてを含めた全国平均であり、

主な内容	
可決等された案件	2面
一般質問	3~5面
委員会の審査・陳情	6面

定例会の日程

- 11月 24日 議会運営委員会
- 12月 2日 会期の決定
- 一般質問
- 3日 一般質問 議会運営委員会
- 4日 一般質問 議会運営委員会
- 議案審議
- 8日 建設委員会
- 9日 厚生委員会
- 10日 総務委員会
- 16日 議会運営委員会 横田基地対策特別委員会
- 18日 議案の審議、委員会審査報告等 議会運営委員会

我が市でも四十人近い学級を抱えている学校もある。少子化のいまこそ、次代を担う子供たちのため、なるべく早く三十人学級を実現するよう政府に対し要望する。

以上、地方自治法第九十九条第二項の規定により意見書を提出する。

平成十年十二月十八日
福生市議会議長
野口 秀世

内閣総理大臣、文部大臣、自治大臣、東京都知事 殿

学校事務・栄養職員の給与費半額国庫負担等の義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書(全文)

政府は一九八四年以来、義務教育費国庫負担制度を「行政改革」の対象として、経費の削減や有償化の動きを強

め、特に学校事務職員・栄養職員の給与費半額国庫負担適用除外を行おうとし、教材費・恩給費・共済追加費用を削減してきた。
この給与費半額国庫負担制度の見直し、廃止が行われるならば、地方財政を圧迫するとともに、教職員の定数・給与が各自治体の財政力に左右されることとなる。
よって、義務教育費国庫負担制度を堅持され、既に除外した教材費・旅費・恩給費・共済追加費用の復元をされるよう、政府に対し強く要望する。

以上、地方自治法第九十九条第二項の規定により意見書を提出する。
平成十年十二月十八日
福生市議会議長
野口 秀世
内閣総理大臣、大蔵大臣
文部大臣、自治大臣 殿

一般質問

(要旨)

市政のここが聞きたい

今定例会では、十四人の議員が一般質問を行い、市政全般にわたり市長にたどりました。三〇五面にその主な項目を掲載しましたが、紙面の関係から、すべての項目が掲載できません。詳しくは、会議録を図書館でご覧ください。なお、この一般質問の内容は、質問議員に確認をしています。

市民文化祭のさらなる充実を

清水信作 議員

質問 今年の市民文化祭も盛会のうちに行われたが、市民文化祭の生い立ちや歴史、参加団体の動向や動員人数、諸費用等は、また展示台が古く、不安定で心配だとの意見があったが、その対応は。

回答 六日間開催し、予算は四百五十五万円程である。

質問 昭和三十二年の第一回町民美術展が前身で、その後福生町民文化祭となり、昭和四十五年に第一回市民文化祭となった。平成十年二十九回の参加団体は二百十六、参加人員は約四千三百人



▲市民文化祭は今年も多くの観客でにぎわった

社会教育部長 展示台については、今後利用者による不安のないよう、買い替えを含め、工夫していく。

ポイ捨て条例設置の考えは

質問 他市町でもポイ捨て条例を設置しており、また本市の青少年意見発表会でも中学生からポイ捨てに関する意見が出されているが、条例設置の考えは。

回答 本市でもポイ捨て条例を公布しており、また本市の青少年意見発表会でも中学生からポイ捨てに関する意見が出されているが、条例設置の考えは。

市長 昭和三十二年の第一回町民美術展が前身で、その後福生町民文化祭となり、昭和四十五年に第一回市民文化祭となった。平成十年二十九回の参加団体は二百十六、参加人員は約四千三百人

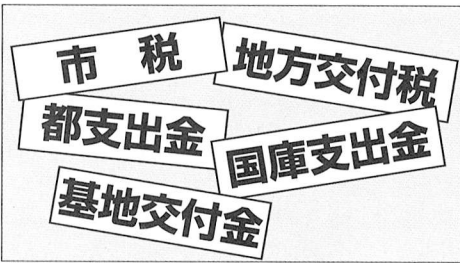
予算編成と

財源確保の考え方は

石川和夫 議員

質問 景気低迷による企業の業績悪化や倒産等が続き、地方公共団体にも大きな影響を与えているが、当市の来年度予算編成の考え方や自主財源の確保は。

回答 景気低迷による企業の業績悪化や倒産等が続き、地方公共団体にも大きな影響を与えているが、当市の来年度予算編成の考え方や自主財源の確保は。



▲貴重な限られた財源をどう確保するか

旧奥多摩街道の

歩道整備を

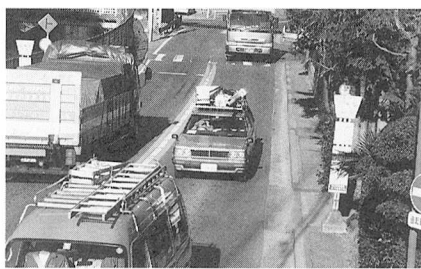
林田 武 議員

質問 新橋交差点から羽村境の区間の歩道整備は、一部を除き、都の「すいすいプラン一〇〇」事業の中で、改修をするとのことだが、事業説明会が不調に終わっている現在、今後の都の考え方を伺いたい。また、事業実施が困難な場合、その予算の一部を歩

道改修にあてられないものか。

市長 都は、本事業を交通渋滞の解消に向け、今後も重点施策として推進したいとの姿勢を堅持されているが、市としては、都や地域の動向を見据えた上で対応していきたい。また、事業費の性質から歩道改修に向けては難しいと考えている。

建設部長 都としては歩道の危険箇所は補修していくとのことであり、都と市と早急に協議していきたい。



▲渋滞する旧奥多摩街道加美交差点付近

雨水幹線工事の進捗状況と地元対策は

質問 多摩川上流域域下水

道雨水幹線工事の進捗状況と地元対策、また神明児童遊園地内の堂川の再生について伺いたい。

市長 武蔵野台の産業道路下の工事も順調に進み、市内では今年度柳山公園付近の工事に着手している。地元対策は、永田地区の還元施設としての自由広場の用地について、地権者の理解をいただき、先行取得をすべき段階である。堂川の再生は、遊園地内に井戸を掘り、流れを取り入れて堂川のイメージが再生できればと思っている。

商業振興対策としての商品券活用の考えは

沼崎満子 議員

質問 経済活性化を促す方法として、各地域では商品券の発行を商店街と協同して行ったりしている。また国では地域振興券を発行する予定とのことである。当市でも配付している健康家庭や八十歳以上の高齢者の記念品に商品券を活用し、高齢者の方々の利便性の確保と、市内商業活性化の一助としたらと思うがどうか。また現在の発行団体は福生商品券協同組合だけに任せているが、運営上問題もあるのでは、商工会を中心に市が手助けをしていく方法も必要と思うがどうか。

回答 今後十分検討したい。運営としては福生商品券協同組合が主体的に行い、商工会が販売事務の委託を受けているもので、現在は百三十店舗が加盟しているが、「加盟店が少ない、わかりにくい」などの声もあるため、商工会や商品券協同組合と協議したい。



▲福生商品券協同組合で作成している商品券は市内引換店で利用できる

一般質問項目

(質問順)

清水信作 議員

○市民文化祭について

○教育行政について

○ポイ捨て条例について

○市財政について

○介護保険制度の実施について

○旧奥多摩街道歩道整備について

○多摩川上流域域下水道雨水幹線について

○小中学校に防災倉庫設置について

○プチギャラリーの改善について

○商業振興対策について

○地域商業振興対策としての商品券の活用について

○環境マネジメントシステム「ISO14001」の認証取得について

○教育行政について

田村正秋 議員

○自転車等有料駐車場について

○公園対策について

○南公園の利用状況とトイレの増設について

○神明児童遊園内に堂川の再生を

○図書館について

○利用と運営について

○まんが図書の導入について

○小野沢久 議員

○来年度の予算編成について

○予算編成の基本的な考え方について

○財源確保の具体策について

○補助金及び負担金の見直しについて

○不況対策、景気対策と考えるものはありますか

○人件費の抑制にどう取り組むか、また職員数の削減はできますか

○福生病院の取り組みについて

○JR五日市線熊川駅周辺整備について

○市営斎場建設と市民葬制度について

○斎場建設の見直しはどうか

○市民葬制度を新設したらどうか

○環境マネジメントシステム「ISO14001」の認証取得について

○教育行政について

林田 武 議員

○平成11年度予算編成にあたって、施策の促進について

○行財政改革について

○姉妹都市提携について

○学校用地(自由広場)について

○旧奥多摩街道歩道整備について

○多摩川上流域域下水道雨水幹線について

○小中学校に防災倉庫設置について

○プチギャラリーの改善について

○商業振興対策について

○地域商業振興対策としての商品券の活用について

○環境マネジメントシステム「ISO14001」の認証取得について

○教育行政について

南公園の利用状況など 公園対策について

田村正秋 議員

質問 ①南公園の今年度の利用者数は、また球場近くのアスレチック広場のトイレ増設要望への対応は。

②神明児童遊園内の堂川の規模と、どの程度の再生か。

市長 ①今年度上期でパーベキュー施設、テニスコート、野球場で六百六十五件の利用である。またトイレの増設は、設置場所までの接続距離や勾配のため、ポンプアップの必要もあり難しい状況である。

②園内に井戸を掘り、流れ

を取り入れ、小規模ながらも少しでも堂川の再生ができればと思っている。

図書館の利用と運営について

質問 ①二十四時間図書館の考え方と本年度の利用状況は。

②まんが図書の導入の考えは。

教育長 ①財政負担、安全面、貸出禁止本の取扱いなどの問題で、現時点では難しいと考えている。

社会教育部長 全館の

教育長 ②まんが図書は、公共図書としてなじまないものや、選書の難しさ等があり、当面は既設四館全体の蔵書の中で考えた



▲南公園アスレチック広場で遊ぶ親子

市民葬制度の新設を

小野沢 久 議員

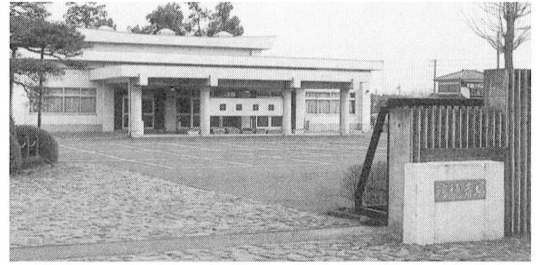
質問 ①市内に民間の斎場は五カ所あるが、市営斎場建設についての何らかの対策があったら伺いたい。

②市価より安く、標準的な葬儀ができる市民葬制度を各市で取り組んでいるが、当市でもこの制度の実現ができないか。

市長 ①市営斎場の建設に

あたっては課題が山積しており、困難な問題と受け止めている。瑞穂斎場の改築の計画が予定されているので、その動向を踏まえながら検討していきたい。

②制度や方法も幾つかあるようなので、調査研究を行い、方向性を見出し、まいりた



▲瑞穂町、羽村市、入間市、福生市で構成、利用されている

「ISO14001」の認証は

吉沢嘉翁 議員

質問 地域における最大の事業所である市役所は、環境問題など、地域に及ぼす影響が大きい。この環境マネジメントシステムの認証取得に取り組んでいる市もあり、当市でも研究をしたらどうか。

市長 市ではさまざまな環境負荷軽減に取り組んでいるが、今後、総合的、体系的にまとめていくことを検討した

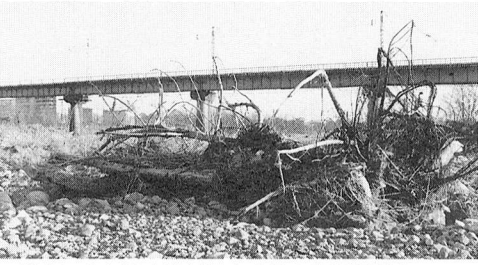
多摩川の水害対策は万全か

吉沢嘉翁 議員

質問 ①多摩川河川敷の流木等の障害物の除去を、建設省等に要望した今までの経緯は。

②流入、堆積した砂利も安全性の阻害要因である。川床の砂利浚渫について建設省等との交渉状況は。

市長 ①機会あるたびに、協議会等へ要望してきたところ、建設省は流木等、護岸の



▲増水により流木等が散在する多摩川河川敷

横田基地軍用機のエンジンカバー落下調査は

遠藤洋一 議員

質問 横田基地所属C-9ジェット機のエンジンカバーの一部が落下、人身、物損等の被害はないとの報告が十月二十九日であったが、大変な事故である。当市上空を飛んでいる飛行機であり、安心できない。調査はどうなっているか、市長の見解は。

市長 基地周辺の市街地に落下した場合、大惨事になることを危惧しており、翌日、



▲エンジンカバーの一部が紛失した横田基地米軍機C-9 (昨年の日米友好祭にて)

介護保険の人的養成 その対策は

久保田数枝 議員

質問 介護保険制度はそこで仕事をする人の養成が重要である。ケアマネージャーについて、どのような状況か。また、民間活力活用としてのホームヘルパーの位置づけは。

市長 介護保険ではサービスの提供は民間活力の活用を図り、市が直接サービスを提供する事業への参加は原則として考えていないが、今後ともケアマネージャーの人材確保には努めていきたい。

学校給食の食器買替えなど 学校教育について

久保田数枝 議員

質問 ①本年六月定例会で学校給食の食器買替えの話があったが、進捗状況はどうか。また学校給食で調理員が使用する手袋の材質は何か。

②子供の権利条約に、子供自身が考え、決定する意見表明権が明記されているが、まだ

重要視されていない。その意見表明権は「居場所の保障」と、「愛される権利」とも言える。この条約は大人のみならず子供にも知らせる義務が課せられているが、どう児童・生徒に知らせ、学ばせているのか。

①学校運営について
②夏休み水泳指導手当の支給について

吉沢嘉翁 議員

①河川敷の流木、倒木等障害物の除去について

②流入した川底の砂利の浚渫について

③JR青梅線福生駅の改善について

④立川バス福生団地線(拝島)福生団地中央(福生駅)のダイヤ増強と路線延長について

⑤教育行政について

①中学校休日時のコンピュータ教室の開放について

②各小中学校にPTA専用室の設置について

③横田基地について

①C-9ナイチンゲールの部品落下事故について

②騒音状況について

③新ガイドライン周辺事態法について

④介護保険について

①実態調査について

②市独自の施策について

③ホームヘルパー・ケアマネージャーなどの配置について

④市職員の配置などの体制について

⑤平成11年度予算編成について

久保田数枝 議員

①町会・自治会の活性化について

②景気対策について

①商工会主導の商品券事業(案)について

②横田基地内の住民に福生市内で買い物をしてもらう対策について

久保田数枝 議員

①学校給食の食器等の現況と対策について

②学校給食調理員の手袋の現況について

③中学校のデリバリーランチの状況と補助について

④「子供の権利条約」の精神を市の施策に生かすについて

原 敏子 議員

①介護保険法について

介護保険制度実施に向けての準備状況について

②障害者福祉の充実について

れんげ園の運営充実について

③市民生活擁護について

生活資金貸付制度の活用について

④教育行政について

不登校対策と30人学級について

今林昌茂 議員

①清掃行政について

他市町村からのごみの持込みについて

②教育行政について

児童、生徒の通学路の総点検について

大野悦子 議員

①ごみ問題を考える

②収集体制の見直しに向けて、どのように準備を進めているか

③リサイクルセンターの活用は

④企業生産者の取り組みをどう考えるか

山下 進 議員

①景気対策について



▲即売会等で毎年にぎわう「れんげまつり」

質問 最近、れんげ園を視察した時に通所者の父母等と懇談の中で、専門知識を身につけた職員の配置や配達弁当の回数増等要望が出されたが、市長の見解はどうか。

市長 指導員の社会福祉主事任用資格の取得に努め、専門研修や実習研修をさらに進め、資質の向上に努めたい。また弁当については、今後

質問 生活困難な方が、生活を立てるのに必要な生活資金のため、生活資金貸付制度があるが、今日のような不況時に市民生活を擁護する意味から、原資の拡大や限度額の引き上げ等すべきではないか。また制度を広くPRし、活用を図るべきではないか、市長の見解を伺いたい。

市長 今後とも制度のPRを図り、貸付、償還等の円滑、効率的運用に努めるとともに、

生活資金貸付制度の見直しを

質問 高齢者、障害者のデイサービスにおける食事サービス全体を考える中で各機関と協議、検討したい。

原 敏子 議員

専門職員配置など れんげ園運営の充実を



▲学校給食の食器は今年度中により安全なものに買い替えることになった

質問 ①第一、第二給食センターの食器、はしを環境ホルモンの影響がない材質に切り替えるべく今議会に補正予算を計上している。また、手袋は塩化ビニール製とポリエチレン製を使用している。

②条約の精神を教育に生かすことは、本市教育委員会学校教育の「教育の具現化」にほかならない。

一人一人の児童・生徒にとつて居場所のある学級、学校をつくる努力等、各校の教育目標としても生かされ、指導されている。

教育長

質問 生活困難な方が、生活を立てるのに必要な生活資金のため、生活資金貸付制度があるが、今日のような不況時に市民生活を擁護する意味から、原資の拡大や限度額の引き上げ等すべきではないか。また制度を広くPRし、活用を図るべきではないか、市長の見解を伺いたい。

質問 ①ごみ、資源の収集体制見直しについて市民への説明会が実施されたが、どのように準備を進めているのか。

市長 ①可燃物の週六回を三回に、不燃物の月四回を二回に、資源物の月四回を七回にし、可能な限り戸別収集とする。今後も説明会を行い、一連の作業を進めながら、

他市等からの ごみの持ち込みの対応は

今林昌茂 議員

質問 ①ごみ、資源の収集体制見直しについて市民への説明会が実施されたが、どのように準備を進めているのか。

市長 ①可燃物の週六回を三回に、不燃物の月四回を二回に、資源物の月四回を七回にし、可能な限り戸別収集とする。今後も説明会を行い、一連の作業を進めながら、

通学路の総点検 結果と対策は

山下進 議員

質問 通学路の安全総点検は、既に実施しているとのことだが、その結果と危険箇所への対策等は。

教育長 点検内容は、歩道、標識、防護柵等交通安全施設について児童の視点から行ったもので、道路が狭い、歩道橋が欲しいなどのさまざまな報告がある。対応できるもの、検討を要するもの、関係機関に要望するものに分けて対応した。今後も交通事故防止に向けて万全を期したい。



▲ステーションに出されたゴミの山

収集体制見直し等 ごみ問題について

大野悦子 議員

質問 ①ごみ、資源の収集体制見直しについて市民への説明会が実施されたが、どのように準備を進めているのか。

市長 ①可燃物の週六回を三回に、不燃物の月四回を二回に、資源物の月四回を七回にし、可能な限り戸別収集とする。今後も説明会を行い、一連の作業を進めながら、



▲リサイクルセンターでは燃やせないごみ等を処理している

△平成十一年十月頃に新収集体制に移行していきたい。

が相次いで公布され、さらにリサイクルが促進されるものと考えられる。しかし、消費者もリサイクル商品を選択する等、市民の役割も極めて重要であると考えている。

商業活性化のための 対策を

山下進 議員

質問 ①商工会から市にPRレミアム商品券事業の補助金要望が出され、市内商業の活性化を図るため、果敢に取り組みたいとのことだが、どのように受けとめているか。

加入店の扱い、購入限度、使用期限、取扱金融機関等の問題があり、今後協議し、検討したい。

②基地内には日常必需品を安く入手できるマーケットがあり、なかなか市内で買いたい物が買えないが、よりよい方法を検討したい。

質問 地域コミュニティの拠点としての町会・自治会会館をミニ地域会館として市で所有し、管理は町会・自治会という形態がとれないか。

市長 市で所有すると公有財産となり、利用面で町会・自治会の自主性を損ない、自主的活動に望ましいとは言えず、現行の補助制度の中でバックアップしていきたい。

質問 行政改革大綱推進計画により、受益者負担の適正化としてさまざまな使用料、手数料の有料化、値上げが実施されたが、一般家庭のごみ収集無料化は継続し、その中で分別や減量の工夫をしていくべきであるが、一般家庭のごみ収集無料化の約束を継続できるか。

市長 行政改革大綱の中にもあるように、受益者負担の適正化を推進し、市民みずから果たすべき役割を担っていただくことも大切だと理解しており、一般家庭ごみの有料化についても今後の検討課題としたい。

ごみ手数料 無料化継続の考えは

松山 清 議員

○不況対策について
今年度中においても緊急対策をとるようにする

○来年度予算について
①住民負担の強化を求めるとは、積極的に負担の軽減をはかること
②積極的な不況対策をとること

不況時の緊急 対策を

質問 不況対策として地方自治体が行うことはいろいろあるが、今年度ほどのような対策をとったか、またどのように検討しているか。

市長 普通交付税の算定に用いる基準財政需要額に緊急地域経済対策費が追加され、緊急性、必要性のある事業を前倒し、実施した。また中小企業対策として融資条例の改正、商業会事業への補助金の増額などに取り組んでいる。



▲商業活性化のため、インターロッキングで再舗装された銀座通り

質問 地域コミュニティの拠点としての町会・自治会会館をミニ地域会館として市で所有し、管理は町会・自治会という形態がとれないか。



▲ごみ手数料は受益者負担の適正化から、今後の検討課題である

議会を傍聴しましょう

次の定例会は3月3日(水)からの予定です。本会議の傍聴はどなたでもできますので、お気軽にどうぞ。くわしくは、議会事務局にお問い合わせ下さい。

☎551-1511 (内線 512)

委員会の審査から

今定例会の常任委員会
では、付託された議案と
請願・陳情、及び継続と
なっていた陳情の審査
が、十二月八日、九日、
十日の三日間、建設・厚
生・総務の順で行われま
した。また、議会運営委
員会は、今定例会に関し、
五回行われました。ここ
では、各委員会から報告
された主な審査概要をま
とめました。

建設委員会

付託された補正予算一件、
議案三件、陳情書五件につ
いて現地視察後、審査しま
した。
◎多摩地域農業共済事務組
合の設立について

現在の西多摩農業共済事務
組合を、平成十一年三月三
十一日をもって解散し、平成十
一年四月一日から農業共済事
務の効率化を図るため、西多
摩、南多摩、北多摩の各農業
共済事務組合を統合し、農業
共済事業に関する事務を共同
処理する、多摩地域農業共済
事務組合を設立するものであ
るとの説明に、原案どおり可
決されました。
◎平成十年度福生市一般会計
補正予算(第三号)
委員会に付託された所管分
の質疑に対する答弁として、

東口再開発準備組合が解散と
なったが、これは東京都の財
政悪化が大きな原因となつて
いる。東京都から今年の二月
に、再開発事業に係わる事業
資金の先行支出の凍結が出さ
れた。住宅供給公社の方でも
検討していただいたが、昨年
の事情の中では、なかなか再
開発事業への投資は難しいと
いうようなことがあり、準備
組合の中で検討し、権利者の
方々の中では不安が多かった
ということの中で、今回はつ
きりたけじめをつけた方が
よいだろうという結論となり、
五月二十五日に総会を開き、
解散の方向づけがなされたこ
の答弁があり、原案どおり可
決されました。

◎市道路線の認定について
委員の質問に、土地の物件、
特に道路関係の寄附の場合
は、感謝状をもってその意を
表しているとの説明に原案ど
おり可決されました。

◎平成十年度福生市一般会計
補正予算(第三号)
委員会に付託された所管分
の質疑に対する答弁として、
国民健康保険の短期保険証の
期間については、六カ月を予
定している。目的は、滞納者
に対する納税交渉の機会を拡
大することである。民間保育
所等振興費六百十万六千円の
減額は、十年度ゼロ歳児が定
員どおりとなっていることか
ら、保育の確保が必要なく減
額となった。老人福祉費で現
在、特別養護老人ホームへ入
所されている方は百五十二
人、待機者が三十三人、養護
老人ホームについては、八人、
待機者五人、合わせて入所者

が三人以上いる場合に支給さ
れますが、所得の制限が定め
られております。手当の額は、
一月につき一万円ですが、
支給要件児童数等により異な
ります。
委員の質問に、国の児童手
当は三歳までとなっているが、
三人子供がいて、なおかつ七
歳以下四歳以上ということが
条件であり、三歳に達したら
すぐに申請をしていただけれ
ば翌月から対象となる。所得
については、所得控除後は二
百七十二万九千円以下の家庭
が対象である。この制度は、
十年度は東京都が十分の十の
補助金制度で実施するもので
あるが、今後子育て事業の充
実を図るうえでは、この制度
の所得制限、年齢の引上げ等
さらに東京都に対して拡大を
求めているとの説明に、原
案どおり可決されました。

厚生委員会

付託された議案四件と陳情
十件、請願一件の審査をし
ました。
◎福生市児童手当条例
児童手当を支給することに
より、生活の安定に寄与する
とともに、児童の健全な育成
及び資質の向上に資すること
を目的とする条例です。
支給要件は、三歳以上で七
歳に満たない児童を含み、か
つ、三歳以上の児童(十八歳
に達する日以降の最初の三月
三十一日までの間にある者)

百六十人、待機者三十八人と
なっている。介護保険電算シ
ステム開発委託料二千二百七
十七万五千円の補正は、介護
保険の保険者として、市の業
務については、被保険者の資
格、記録管理等を管理するシ
ステムで、厚生省で発表する
システムの標準仕様に基づ
き、メーカーが開発したもの
を購入し、これを市に合った
形に改良するとの答弁があ
り、起立採決の結果、原案ど
おり可決されました。

総務委員会

現地視察の後、付託された
議案一件と陳情十件の審査を
しました。
現地視察は、十月から開始
されました「心の教室相談員」
制度について、第一中学校の
心の相談室を視察しました。
生徒が気軽に話し合えるよう
に、相談員は一中、三中に臨
床心理士、二中には大学新卒
者をそれぞれ一名配置し、相
談室での相談ほか、家庭に出
向いての相談業務を各校週一
〜二回実施しております。こ
の制度は、文部省で全国一斉
に開始されました。

◎平成十年度福生市一般会計
補正予算(第三号)
委員会に付託された所管分
の質疑に対する答弁として、
歳入で、国有提供施設等所在
市町村助成交付金等(基地交
付金)は、国予算の増額及び
福生市の資産価格の伸びによ
り、当初予算と比較し二千三
百八十八万三千円の増額とな
った。高齢者福祉推進事業費
補助金は、十年から創設され
、高齢者の福祉を推進するため
に、包括的な補助を行うもの
で、敬老大会の経費、老人福

祉電話の運営、おむつ支給を
補助対象事業として交付申請
し、補助額は五百万円となる
ホームヘルパー養成講習事業
補助金は十年から創設され、
二級課程の講習を行う場合に
補助対象とするもので、百三
十万円を交付申請し、その二
分の一の六十五万円が補助額
となる。保育所運営費補助金
の減額は、子育て事業の一環
として国の保育に対する改定
があり、都でも補助項目が変
更され、補助率三分の二が二
分の一となったことにより四
千六百二十万七千円の減額と
なった。
歳出では、学校給食の食器
については、五年を耐用年数
とし買い替えを行っている。
第二給食センターが平成五年
に、第一給食センターは平成
六年に買い替えており、当初
予算では第二給食センター分
を計上したが、今回第一給食
センター分六百五十九万五千
円の追加である。買い替えは、
ポリカーボネート製の食器を
ポリプロピレン製に買い替え
るものである。市営プールの
光熱水費の減額四百二十五千
円は、十日間の閉場及び濾過

器を昼夜稼働させたことによ
り、水道水の補給が少なく
なるとの答弁が
あり、原案どおり可決されま
した。
議会運営委員会は、本会議
の前及び会期中に開催され、
議会の日程、議案や陳情の審
査の順序、委員会への付託、
即決の決定のほか、特定の事
件を審査しました。
また、福生市議会だよりの
編集をしており、少しでも読
みやすい紙面づくりに努力し
ております。
◎福生市議会会議規則につ
いて
会議規則の改正について審
査しました。現在の規則は、
町村の標準会議規則に準拠し
制定しておりますが、運営上
の解釈に相違が生じること等
により、市の標準会議規則に
準拠し改正しようとするもの



▲第1中学校の心の相談室を視察する総務委員会委員

議会運営委員会

◎福生市議会会議規則につ
いて
会議規則の改正について審
査しました。現在の規則は、
町村の標準会議規則に準拠し
制定しておりますが、運営上
の解釈に相違が生じること等
により、市の標準会議規則に
準拠し改正しようとするもの

で、十一年三月の提案に向け
て準備を進めることになりま
した。

◎平成十年度福生市一般会計
補正予算(第三号)
委員会に付託された所管分
の質疑に対する答弁として、
歳入で、国有提供施設等所在
市町村助成交付金等(基地交
付金)は、国予算の増額及び
福生市の資産価格の伸びによ
り、当初予算と比較し二千三
百八十八万三千円の増額とな
った。高齢者福祉推進事業費
補助金は、十年から創設され
、高齢者の福祉を推進するため
に、包括的な補助を行うもの
で、敬老大会の経費、老人福

特別委員会活動から

地域体育館駐車場新設事業の
実施状況が報告されました。
また、十年度の基地交付金
は、十三億二千五百四十四万
一千円(前年度比一・九%増)
調整交付金は二億七千五百十
万一千円(前年比同率)との
確定報告がされました。
その外、米空母艦載機飛行
訓練の中止要請、米軍機C-
9のエンジンカバー一部紛失
事故についての要請、正月三
箇日及び日曜、祝日の飛行停
止要請、及び東京都と周辺市
町連絡協議会の報告がされ、
閉会しました。

十二月十六日に開催され、
平成十年度補助事業や基地交
付金等を協議しました。
◎平成十年度防衛補助事業の
実施状況について
周辺対策事業として、市道
幹線舗装補修事業、牛二公園
(仮称)新設事業、鍋ヶ谷戸
児童公園拡張事業、消防ポン
プ車購入(第一分団)、一小
外三校、中央図書館の防音機
能復旧事業、調整交付金事業
として、市道新設事業、福生

器を昼夜稼働させたことによ
り、水道水の補給が少なく
なるとの答弁が
あり、原案どおり可決されま
した。
議会運営委員会は、本会議
の前及び会期中に開催され、
議会の日程、議案や陳情の審
査の順序、委員会への付託、
即決の決定のほか、特定の事
件を審査しました。
また、福生市議会だよりの
編集をしており、少しでも読
みやすい紙面づくりに努力し
ております。
◎福生市議会会議規則につ
いて
会議規則の改正について審
査しました。現在の規則は、
町村の標準会議規則に準拠し
制定しておりますが、運営上
の解釈に相違が生じること等
により、市の標準会議規則に
準拠し改正しようとするもの

陳情

今定例会の各委員会
で審査された結果、採
択、又は不採択となっ
た陳情書とその理由は
次のとおりです。

採択

◆陳情第十一十四号 「一刻
も早く三十人学級の実現を求
める意見書」の提出を求める
陳情書

不採択

◆陳情第十一十五号 わか
りやすいまちづくりのため
のサイン整備を求める陳情
書
(理由)既に整備されている
ので、不採択とする。

編集後記

福生市議会では、それぞれの
委員会で、全国各地の視察
を行っています。他の自治体
の施設見学や、進んだ施策の
勉強、現場の意見を聞くなど
の大事な研修です。
宿泊はビジネスホテルのシ
ングルルーム。食事も原則各
自がとります。宴会は無し。
他市に比較しても、大変に
簡素な視察です。
視察の報告や感想は、参加
議員全員が書き、年度末に全
視察の報告書を作ります。
議会事務局に保管してあり
ます。市民のみなさん誰でも
読めます。
この視察も、来年度からも
つとスリム化し、経費削減の
努力をします。
議会運営委員会